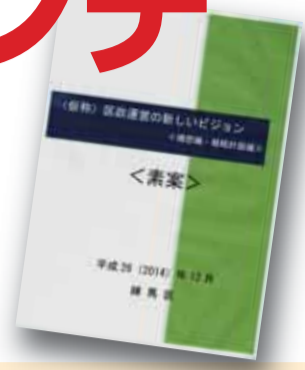




練馬の福祉が大ピンチ

— 区長がうちだした「新ビジョン」



昨年4月に誕生した前川区政は、昨年末「区政運営の新しいビジョン(素案)」を発表。ところがその方針では、保育も医療も重大な大後退になることが明らかになりました。

今年度は「全都一番、の17園増設したのに、来年度は4園に

認可保育園建設が大後退

リーマンショック以来、練馬区では保育希望者が急増し、多数の待機児が発生しました。共産党は、待機児ゼロへの解決には「認可保育園の大幅増しかない」とくり返し要求し、保護者の運動とも力を合わせ、認可保育園をこの4年で36園と全都一の増設を実現。

練馬区は14年度17園、1211人分を増やし、待機児ゼロを目指すと表明しました。

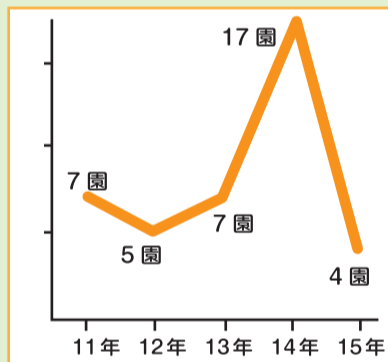
認可保育園待機児は800人以上も(2月末現在)

ところが、15年度区予算では、認可保育園の新設が僅か4園と大幅に後退しました。

希望者全員の「認可保育園」入園は、行政本来の責任です。ところが、800人以上が、認可保育園に入れない事態になっています。(2月末) 区は、むりやり認可外保育施設に割り振りかねません。

力をあわせて大改善をはね返しましょう。

練馬区の認可保育園新設数



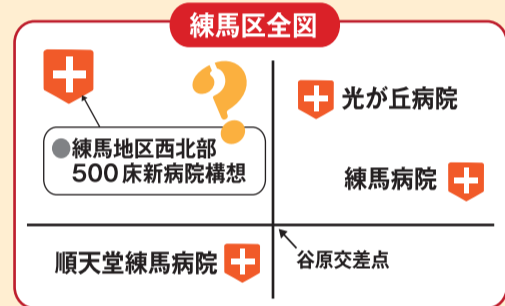
- 今期(11~14年度)4年間の新設数は合計36園と全都最高
- 14年度の17園も全都トップ

区民の切実な願い、500床の新病院計画が消える

救命・救急、高度な医療の病院新設に黄信号

「新ビジョン」では「検討課題」に格下げ

前区長は「区西北部に500床の急性期病院の新設」を公約し、10年間でベッド数を約800床増やす目標を示しました。ところが「新ビジョン」では「検討課題」に格下げ。10年後の増床目標すら示していません。



練馬の病床数は23区平均の1/3(人口比)

救急入院の6割が区外の病院という、練馬の病床不足は深刻です。ところが都の「地域医療圏の規制」で、病床数を増やすには都の許可が必要です。その「見直し」は、2017年度です。今の時期に、区長が、区民の声を代表して、東京都に迫る立場に立つことが大切です。

そのために共産党は、全力でがんばります。

「新ビジョン」容認の自民・公明・民主・維新

区の15年度予算と「新ビジョン」にたいし、日本共産党は区民の立場で追及し、「重大な問題がある」と反対しました。自民・公明・民主・維新の各党はそろって賛成し、容認・推進の立場です。

子育て、医療の後退許さないため 日本共産党を5から6名に伸ばしてください



日本共産党練馬地区
くらし・医療対策部長

さかじり正由喜

坂尻まさゆき

私の後継者です。よろしくお願いします
前区議会議員 かまた百合子



プロフィール

- 1971年北町生まれ、44歳 ● 北町西小、練馬東中学卒
- 1989年練馬工業高校を卒業、印刷会社に勤務 ● 2002年赤旗練馬出張所員 ● 2012年衆院東京9区に立候補し、総選挙を闘う ● 趣味：映画鑑賞、カラオケ

連絡先

- 坂尻事務所 5399-5640(FAX兼)
- 日本共産党練馬地区委員会 3998-5621